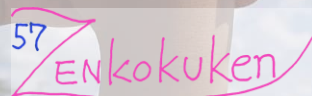


つながろう!! 全国研

第57回*全国学童保育研究集会実行委員会 広報チーム発行
お申し込み締め切りまであと4日!



全国研特設HP



全体会情報!

第57回全国研の全体会は全国をつなぎます!

お楽しみに!

オープニング参加地域 & ほしい誌アピール

「10/29、オープニングは各地の学童保育からライブ配信です!」

注目!

全体会は
後日、配信
があります!
土曜日保育
で参加できな
い方も後日、
視聴が可能で
すよ★

現在の申し込み人数は?

参加申し込みはお済みですか?

9月23日現在
総数**1201**人

参加申し込み方法は、お住まいや在籍される学童保育により、申し込み先がわかります。

在籍・勤務・所属する学童保育が下記にある場合は、該当の連絡協議会へ、お問い合わせ（お申し込み）をしてください。

該当しない方は、

愛知学童保育連絡協議会

へWEBまたはFAXにてお申込みください。

愛知へのお申し込みはこちら→

参加申込FAX
052-308-3324



京都府

宮城県

埼玉県

石川県

兵庫県

和歌山県

大分県

しめきり

2022年9月30日（金）\ 締め切り間近です! /

●第57回全国学童保育研究集会についてのお問い合わせ先

TEL : 03-3813-0477

Email : d57zkk@xvg.biglobe.ne.jp

HP : <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/zenkokuken/d57/>

全国連協で全国研特設ホームページを開設しました! 参加のお申し込み・詳しい開催内容は、全国研特設HPのQRコードよりごらんください。

- ◆参加費の最終支払い期日：2022年10月7日（金）
最終支払い期日までにご入金いただけない場合はキャンセル扱いになります。
- ◆キャンセル料……2022年9月30日（金）までのお申し出については無料。振込手数料を差し引いた額を返金いたします。2022年10月1日（土）以降のキャンセルは返金できません。
- ◆オンデマンド配信による視聴のみを希望される方も参加申し込みが必要です（参加費・申込締切日共通）

- ◆1台のパソコン（またはタブレット、スマートフォン）で複数の方が参加することができます。ただし、参加費は1名につき4,000円、参加される方全員のお名前等をお知らせください。
- ◆1台のパソコンで複数の方が同時に、別々の分科会に参加することはできません。参加者それぞれが別の分科会に参加を希望される場合には、お一人ずつ、個人でお申し込みいただくか、希望分科会ごとにグループ分けするなどして、お申し込みください。



2日目分科会に同一機材から複数人参加する場合の注意事項が追加されました★

- ◆2日目、複数で同一機材から参加する場合の申し込み
 - ①参加申し込みフォームから、「参加代表者の機材を使用」をクリックし、参加者ごとに名前・立場・連絡先等の情報をご記入ください。
 - ②同一機材から参加者が多い場合は申し込み用エクセルファイルもご用意しています。下記のお問い合わせメールにてご連絡ください。

d57zkk@xvg.biglobe.ne.jp

分科会紹介

広報チームニュースでは、分科会の紹介を掲載していきます。分科会を決める際の参考にしてみてくださいね♪



第1分科会④ 午後

学童保育の生活 ー大切にしたいこと

講師の佐藤正美さんより

この分科会は、毎年、新任の指導員さん（放課後児童支援員等）がたくさん参加してくれています。このたびの第57回全国研では、午後に行われる分科会に設定されています。これまで、講義を通じて学びあった後、日々子どもと関わるなかでの悩みや、各自が課題だと感じていることを交流するなかで、新任の指導員の悩みも率直に出され、みんなで共感し、考えあつてきました（第54回全国研までは、終日開催）。

オンラインでの開催となる今年度ですが、「悩んでいるのは、自分だけじゃないんだ」「先輩の指導員たちも同じように失敗をしてきたんだ」「この仕事って楽しいんだ」など、一つでも気付きがあり、「明日からがんばっていこう」と思えるような分科会にしたいと思っています。短い時間ですが、交流の時間も設定しています。皆さんの参加をお待ちしています。

連協活動に行き詰まり感を抱いている連協関係者、これから連協組織の設立を検討されている保護者・指導員の皆さん、「連絡協議会って、なにしているのだろう?」と連協組織の活動に興味のある方々の参加をお待ちしております。

*『日本の学童ほいく』2022年8月号に、津島市連協の活動内容を紹介する記事が掲載されています。あわせてごらんください。

check! / 「日本の学童ほいく」 2022年8月号



第12分科会② 終日

指導員の職場づくりと指導員組織

世話人の岡本明美さんより

1つの学童保育に勤務する指導員の人数が多くなり、新たに指導員になる方も増えるなかで、「どうやって保育会議を充実させたいの?」「なかなか意見が出ない」「ローテーション勤務の指導員間の連携はどうしよう?」「声の大きい指導員も含めて話し合える関係づくりは?」「勤務体制や仕事に対する理解や意欲もさまざま」など、日々、指導員間の連携で悩んでおられる方、ぜひこの分科会で交流しましょう! この分科会では、市川建史（いちかわ・たけし）さん（愛知県名古屋市・指導員『日本の学童ほいく』2022年6月号特集に原稿執筆）のレポート報告を予定しています。

「子ども理解を深めよう」「子どもの育ちを共有する」などの質の高い保育会議が、学童保育の生活づくりの質に大きく影響を与えます。そのためにも、指導員の連携・協力の実態を交流し、支えあうための指導員組織の必要性やあり方について学びたいと思います。

check! / 「日本の学童ほいく」 2022年6月号



第3分科会② 終日

市区町村の連絡協議会づくりと活性化

世話人の稲沼崇さんより

本分科会では、山形県米沢市と愛知県津島市（*）からのレポート報告を皮切りに、各地の現状や抱えている課題に対し、学童保育関係者が力をあわせて主体的に活動するためにはどうすればよいのか? 行政や議員との交流方法や、それがどのような結果に結びついたのか……といった成功体験を交流し、情報共有します。そのことを通じて、保護者と指導員が一緒につくる学童保育連絡協議会の役割をあらためて確認し、分科会終了時には、「よし! うちの地域ではつぎに会議でこんなことを提案してみよう!!」など、連協組織を活性化するためのヒントが得られることをめざしていきます。